



在京和歌山県人会会報 第176号

編集兼 谷口博昭
発行人

発行所 在京和歌山県人会

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-3
都道府県会館12階

電話 (03) 5212-9057(代表)直通

FAX (03) 5212-9059

振替 00190-9-30239

(題字は初代野村会長筆)

謹賀新年 令和五年元旦



あらぎ島(有田川町)

写真提供：(公社)和歌山県観光連盟

(目 次)

年頭のご挨拶.....	郷土だより.....(9)
本会会長・谷口 博昭…(1)	同郷会・同窓会だより.....(12)
新春ごあいさつ.....	令和4年度 通常総会・交流会開催.....(14)
和歌山県知事・岸本 周平…(2)	高野山開創1250年の年に
新年のご挨拶.....	和歌山を訪れてみませんか.....(19)
和歌山県議会議長・尾崎 要二…(3)	ロケット発射を応援しましょう.....(20)
新春随想	
籠田 幸夫…(4)	
森 聰郎…(5)	
宮原 正明…(6)	
東 利夫…(7)	
稲井 孝之…(8)	

<p>三、</p> <p>ふいと和黒く るやこ歌わろ さ更し山潮 とにえはの はののし 仲の明あぶ つび若わか日 ねよさきを に栄さか呼ぶ に微ほえ乗の 笑えよりて むよ</p> <p>軌道ゆくところ</p>	<p>二、</p> <p>ふい汗和野の南 るやに歌かは国 さ更ら明あ山ま とにけはりの はののの 仲の火幸さ息 つび花ばをち吹 ねよに生うはゆ に栄さか暮むは に微ほえれて国く 笑えよてにる むよ</p> <p>息吹きたか ゆたかに</p>	<p>一、</p> <p>ふい人と和陽ほ るやの歌かにの さ更らわ山映ほ とにとははゆの はののる 仲の文ふ常とこ つび化か春はみ ねよをののど に栄さか添く起 に微ほええ国に 笑えよて</p> <p>かおる 浜木綿</p>
--	--	--

和歌山県民歌

西川好次郎 / 作詞
山田 耕祥 / 作曲

Andante maestoso

ほのほのとかおるはまゆうひにはゆるみどりのき
ふくわかやまほとこはるのくにひとのわとぶんかをそ
えていやさらののびよさかえよふるさと
はつねにほほえむ

2. なんご
3. ころが

和歌山県民歌の誕生

戦後間もない昭和23年(1948年)、篤志家から「後世に残るものを何か考えてほしい」と和歌山フィルハーモニック・ソサイエティ委員長の竹中重雄氏が依頼を受けて、県民歌の作詞・作曲の一般公募を行い、同年8月に県民歌が誕生しました。作詞者は、小学校教諭の西川好次郎氏で、市内の町歌や校歌を多く作られています。

作曲者は、「赤とんぼ」「この道」「からたちの花」で有名な山田耕祥氏です。作曲公募の中に優秀作品がなかったため、選者である氏自らが作曲を行いました。



QRコードから
県民歌を聴いてみよう!

年頭のご挨拶

在京和歌山人会

会長 谷口博昭



明けましておめでとうございます。

会員の皆様方におかれましては、ご壮健で良き新年をお迎えのことと存じます。

新型コロナウイルス感染の関係で開催を見合わせてきました恒例の総会と懇親会ですが、コロナ対策を考慮したコンパクトな形で3年ぶりに開催、無事に終了することが出来ました。ここに、ご多忙の中無理なお願いのご講演をお引き受け戴きました紀州徳川宗家第19代当主徳川宜子様、抽選景品として郷土ゆかりの品の贈呈にご協力戴きました方々、ご出席、ご協力戴きました方々そして久しぶりの開催準備に奔走して戴きました東京事務所の方々に改めて感謝、御礼を申し上げます。また、県人会の事務局を長年に亘り務めご尽力戴きました中野美智子様が一昨年5月に逝去されましたが、総会の前に、故人に対する感謝状を遅まきながら弟の迫間様に贈呈することが叶いました。中野様のご冥福を衷心よりお祈り致します。

さて昨年2月に始まったロシアによるウクライナ侵攻及び新型コロナウイルス感染禍の収束が見通せない状況の中で新年を迎えることとなりました。ともすればこうした当面の対応措置に追われがちですが、「失われた30年」と称される今日の停滞を打破するためには、「令和」に相応しいコロナ後の日本再生の将来像を示すことが肝要です。その先に国民の将来不安が解消され力強く前進し得る「日本創生」が見えてくることを期待します。

新型コロナウイルス感染禍は特に東京はじめ大都市の人口集中の脆弱性を顕示し、首都直下地震や南海トラフ地震等の災害予測を勘案すれば、リスク分散型国土形成を促進することが肝要です。テレワーク等の浸透により可能となった大都市での就職と地方での居住を図るため、今こそ「国土強靱化」と「地方創生」の加速が求められます。ここに、新知事の下、県勢の発展を期待します。

県人会は素敵な出会いの場、交際・交流の場です。県人会創設の先人達の熱き想いを大切に、県勢の発展の一助となるべく、県当局や国会・県会などの先生方のご指導、ご支援を戴きながら郷土愛精神を持って種々の活動に努めてまいりたいと想います。皆様方のご支援、ご協力をお願い致します。

在京和歌山人会会長は「県人の子弟が安心して勉学に励める環境を提供し、団体生活を通して有為の人材を育てること」を目的として東京都調布市に開設された（公財）和歌山県奨学会東京学生寮の理事長を兼務する慣例です。これからは人材育成、人づくりが一層重要です。皆様方の暖かく且つ力強いご支援、ご協力をお願い致します。

結びに、新型コロナウイルス感染が収束し、本年が和歌山県と会員の皆様方にとって幸多い年となることを祈念して年頭のご挨拶と致します。

新春ごあいさつ

和歌山県知事

岸本周平



あけましておめでとうございます。

在京和歌山県人会の皆さまには、気持ちも新たに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

私も、知事就任後、初めての新年を迎え、改めて、知事という重責に身の引き締まる思いです。県民の皆さまからの負託に全身全霊で応えていくことを強く誓ったところです。

去年は、ロシアによるウクライナ侵攻や円安の進行、物価高騰など、私たちの日常生活をも揺るがしかねない大きな出来事が相次ぎました。

一方、和歌山県におきましても、止まらない人口減少や少子化への対応、南海トラフ地震など自然災害への備えなど大きな課題を抱えております。

そのために、農業、林業、水産業など一次産業の活性化と新しい観光産業の振興に加え、子育て世帯の経済的負担を軽くするための支援の充実や創造的な人材の育成を図りたいと思います。

今回の知事選では、「和歌山が最高！だと 子どもたちが思う未来を！」と訴えてきました。私が目指すこの未来は一朝一夕に実現するものではありませんが、その扉に向かって着実に歩みを進めていくため、皆さまの声を直接お聞きし、県庁をあげて、開かれた温かみのある県政を行ってまいります。

さらに、全国で活躍している幅広い分野の方々にアイデアを出してもらおうプラットフォームを作り、県内で頑張っておられる方々の知恵と力を合わせて、ワクワク、ドキドキするような和歌山県活性化のプロジェクトを発信していきます。

今、目の前では、小型ロケット「カイロス」が、串本の地から打ち上げられようとしています。また今年も、インバウンド観光の回復も予想される中、弘法大師ご生誕1250年を迎えるなど、まさにコロナ禍からの反転攻勢に大いに弾みがつく一年になると、期待がふくらみます。

新たな県政がロケットスタートを切れるよう、私も職員と一丸になって頑張ってみます。

最後に、新しい一年が、在京和歌山県人会の皆さまにとって輝かしい年となりますことをお祈り申し上げ、年頭のご挨拶といたします。



新年のご挨拶

和歌山県議会議長

尾崎 要 二



あけましておめでとうございます。

在京和歌山県人会の皆さまには健やかに令和5年の新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、我が国は、人口の減少や高齢化が急速に進み、加えて、国際情勢の混乱を元とする原油や原材料の高騰、これによる物価高や円安が進展し、更には、約3年という想定外の長期間に及ぶコロナ禍も相まって、現在の社会情勢は私達の日常生活に大きな変貌と影響を与え続けています。

しかしながら、こうした時代にこそ、私達は、県民の皆さまの命と暮らしを守る施策、県経済が元気を取り戻す事業に積極的に取り組まなければなりません。

県においては、急速に進展するデジタル技術活用の加速化や今後成長が期待される宇宙・ロケット関連産業の推進、また、商工業の振興、教育の充実や社会福祉の増進並びに防災対策や国土強靱化など、様々な課題の解消に取り組んでいるところです。

今年の和歌山は「リ・スタート」の年であります。

御承知のとおり、昨年12月、新たな県行政の舵取り役として岸本周平知事が就任されました。

県議会といたしましても、新知事と車の両輪となり、本県の可能性を發揮できる新しい枠組みを創造し、ふるさとの発展のため、そして、県民の皆さまの幸せのために懸命に取り組んでまいります。とりわけ、本県が有する農林水産業など一次産業のポテンシャルを最大限に活用し、新しい観光産業の振興に結びつけるとともに、和歌山の魅力をアピールしながら、移住・定住を更に促進させ人口の減少に歯止めがかかるよう精一杯尽力してまいりますので、県人会の皆さま方におかれましても、引き続き、御支援、御協力をお願い申し上げます。

結びに、在京和歌山県人会のますますの御発展と、新しい年が県人会の皆さまにとって希望に満ちたより良い年となりますよう心からお祈り申し上げ、新年の御挨拶といたします。





バリアフリーな遊び・俳句

日高高校関東同窓会 会長 籠田幸夫
天穹俳句会 副主宰
(御坊市出身)
(昭和16年5月生)

バリアフリーという言葉が最近目立ってきました。高齢化社会のため、公共施設や交通手段・大型建築物等に快適さ・安全さを確保するためでしょう。

我が県人会には会長の谷口氏、名誉会員の徳川宜子氏、国会議員の足立氏と建設関係の方々がおられますので、「バリアフリー」の事を言うのは、一寸気が引けますが、約50年前に国連で提唱され、建設関係から始まりました。「バリアフリー」は直訳すれば「障害を取り除く」すなわち、誰もが快適な生活ができる社会を目指したのですが、今では、その対象を「老若男女」、「健常者・身障者」、「国や人種、思想」等の「垣根を越えた思想」と位置付けられています。

「俳句」も最近、テレビ番組の所為で、とても身近な遊びとなりました。この「俳句」は、あの封建時代の江戸の頃に流行りましたが、ルールが民主的なのです。まず「老若男女」、「武士や町民」、「健康人や病人」、「富豪や貧者」が自由に参加でき又、作品は無記名で投句し、その選評は参加者が自由にできるという文芸です。とても「バリアフリーな遊び」なのです。私は、この柔軟さや平等性、季節や自然への優しさ、人生に対しての前向きな考え方に虜になりました。世界はここ3年、コロナ禍というパンデミックに入っていますが、私はこの自粛期間を、俳句という遊びのお陰で、楽しく過ごす事ができました。丁度、傘寿を迎えた事もあり、第二句集「楽」も上梓しました。又、仲間とは、手紙・メールやFAX等で交流を深める事ができ、その度に新しい表現法、珍しい情報、深い知識、思わぬ縁等と巡り合えました。この「非日常性」により、心をリフレッシュしてくれる余生の遊びに感謝しています。



「勝ち負けの無きが目出度き福笑」

幸鳴 (天穹俳句会 副主宰)



タアルとチャアルの境目

森 聰 郎

(古座川町出身)

(昭和37年生)

タアルとチャアルの境目はどこか。私の故郷（古座川町）では、雨がやんではいるが地面が濡れてる状態を「雨が降ったある」という。一方、紀北に行くと「雨が降ったある」は「雨が降っちゃある」になるらしい。要するに、紀南のタアルは、紀北ではチャアルになる。ならば、タアルはどの辺からチャアルになるのだろうか。

私の知る限り、新宮から紀伊半島の南端の串本を経由して白浜辺りまではタアルの気がする。もう少し北の方だと有田くらいまではタアルなのだろうか。それとももっと北までタアルは行くのだろうか。昔、探偵ナイトスクープでアホとバカの境目の調査があったが、タアルとチャアルの境目はどの辺なのか。

食文化でも、紀南と紀北の境目があるだろう。紀南ではサンマ寿司を食べるが、紀北に行くとサバ寿司を食べるらしい。めはり寿司の如く、サンマ寿司も和歌山全土で食べると思っていたが然に非ず。また紀南でゴンパチと呼ばれよく食されるイタドリも紀北では一般的に食さない様子。

もしかすると食文化の分かれ目と、タアルとチャアルの分かれ目は、ある程度一致するのかもしれない。私は今年、六十歳、還暦を迎えた。昔ならば仕事と隠居生活の境目である。実際は退職まで暫くあるが、退職したら和歌山の海岸線をドライブしながら、タアルとチャアルの境目をフィールドワークで検証したいと思っている。





元気で健康な日々を！

宮原正明
(有田市出身)
(昭和16年4月生)

石油会社を定年後、駒沢パークインターナショナルスクール半日勤務を10年、ここも定年後、今度は大田区の東京電力警備員を10年弱、80歳目前に3度目の定年。

- ◎昨年7月、10数年ぶりに帰省したくなり、コロナ禍の収まらない中、PCR検査陰性のプリント持参で、箕島駅からタクシーで実家にも寄らず、戦没者の墓—母・兄の墓と廻り—昨年100歳になった小学校6年の担任の先生の玄関先でお祝い—そのままタクシーで旅館へ。和歌山駅前では小6の旧友男女と談笑、西浜の母校も、和歌山城・わかやま歴史館も訪れてきました。
- ◎和歌山時代の友達が「マンホールカード」を蒐集しているというので、都内・近郊を回って95ヶ所ぐらい既に郵送しました。年間¥20510のシルバーバスをフル活用してもう少し探しまわるかな。
- ◎最近スマホの「楽天シニア」というアプリで一日4000歩以上歩いて指定されたチェックインポイントでポイント加算というのを40ヶ所ぐらい廻りました。まだまだ元気にあと60ヶ所ぐらい追加したいなあ～。
- ◎有楽町の「和歌山紀州館」には時々、昨年9月には、「プレミアム和歌山物産展」というのが成城学園前で1ヶ月間開催された時は3回も買い物に出かけました。
- ◎年金生活で、土日は日本麻雀連盟で楽しみ、胃がんで胃全摘手術後は栄養不足気味の私も、元気に健康的な日々を過ごす中で、細々とふるさと納税も続けたいなあ～。





今日からも多用の中で高揚する半生を送りたい。 ベートーヴェンの交響曲と共に

東 利 夫
(海南省出身)
(昭和5年7月生)

私は現在の海南省日方出身で、和歌山女子師範附属小学校時代（海南省日方）は校庭から淡路島（兵庫県）をよく見ていた。私の母方祖父は徳川時代からの庄屋だったが死後没落。県立海南中学1年の時に母と父が相次いで病気のため死去し、紀美野町の丘の上に埋葬した。当時の中学校長佐藤要三先生（東北帝大大学院出身、宮城県ルーツの人で初代東京学生寮長）と小学校の中村正寿先生（担任で生物学）の御尽力で何とか中退せずに中学を卒業できた。佐藤先生は「東京の国立大学へ進学しなさい」と勧めてくれたが、資力不足のため進学を断念し、試験で和歌山県庁に入庁した。上司各位の御支援で昭和27年に東京勤務となり、霞ヶ関中央官庁派遣のあと東京事務所に配属された。東京事務所勤務のかたわら「ロシア正教ニコライ堂」近くの大学法学部を卒業し、約39年間東京で勤務した。

県人会の前身は、昭和28年大洪水救援で参集した県人有志の発起で1958年に麻布飯倉時代に県人会が創立された。同年には東京タワーも開業。目の前にはオランダ大使館やロシア大使館も見えた。その後、県人会は東京オリンピックの少し前に平河町（赤坂）の都道府県会館（今の建物の前身）へ移転し、会館財団の承認で「在京和歌山県人会事務局」を表記。以来、事務所は東京事務所内に。昭和34年に九段会館で創立総会を開催。中立、公正、公平、非営利の県人会として、初代野村吉三郎会長（駐米大使等歴任）のあと、堀武芳勸銀頭取さん、林一夫氏と続いた。その頃、中野美智子さんが林氏の紹介で大学卒専任の事務局職員に。その中野さんも一昨年亡くなられた。文京区の椿山荘では駐日トルコ共和国大使夫妻を招待し知事が出席。

マッカーサー元帥が解任された翌年の1952年に連合国軍占領下の東京へ私は来ました。美輪明宏歌手が銀座「銀巴里」で唱っていた時代で、毎朝、日比谷第一生命ビルへ出勤の後任のリッジウェイ中将（最高司令官）専用車に出会ったことが思い出。東京事務所勤務時に妻と結婚した。私の妻は鎌倉幕府要人直属武家の子孫で、以来世田谷区に居を構えている。私は英語とベートーヴェンが大好き。事務所では外国公館、外国人の事も担当していた。

私は今92歳元気です。末筆ながら皆様のご健勝を祈念します。





本会理事を退任して

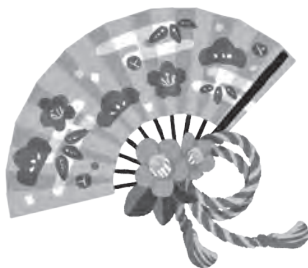
稲井孝之法律事務所 弁護士 稲井孝之
(田辺市出身)
(昭和20年1月生)

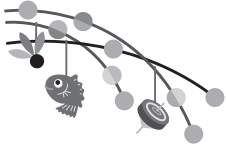
本会とのかかわりは、昭和48年（1973）年に、弁護士として独立開業した時に遡る。当時は、顧客発掘のため、いろんなところにアプローチしていた。そのなかに、「紀友会」を紹介してくれた方がおり、当時の、都道府県会館まで足を運んだ。紀友会の当時の会長は、林一夫氏で、事務局職員として、令和3（2021）年に亡くなられた中野美智子氏が進行役を務めていた。後で分かったことであるが、紀友会は本会の高齢会員の方が多く、それ故に、本会の会長と事務局職員がかかわっておられたのである。

紀友会には、慶應ボーイで鳴らした山本碩氏、事業承継の先駆者たる永田一雄氏、画家の中田豊氏などが毎回出席されておられた。これを契機に、当時、昭和生れの会を率いていた尾崎昭夫弁護士などからも本会の理事就任方要請があり、理事就任を引き受け、爾来、昨年の総会前に、後継者を推薦するまで、理事を務めてきた。林会長の後は、およそ、公的な役職を終えた方が会長職に就いていたと思う。

日本の経済成長は、平成2（1990）年頃を境に、バブルが崩壊して、長すぎた20年とも云われる経済不況が続いた。バブルのピークに至るまでは、本会の会員同士の親睦、趣味の会など、活動が盛んであったと思うが、低成長時代に突入してからは、国会議員の大臣就任祝いなどの行事、忘年会などはあったものの、その他の親睦のためのゴルフコンペなどは、開催される機会がなくなっただと思われる。もっとも、そのようなイベントを取り行う熱心な幹事さんが出現しなかったことも、大きいかと思う。

ともあれ、今後の本会の発展を祈念する次第である。





郷土だより

岸本周平氏が和歌山県知事に初当選

令和4年11月27日に投開票された和歌山県知事選挙は、新人で無所属の前衆議院議員、岸本周平氏(66)が初当選を果たした。投票率は39.86%で、前回は1.53%上回った。岸本氏は246,519票を獲得し、無所属で政治団体「新党くにもり」前代表の本間奈々氏(53)、共産党公認で党県常任委員の松坂美知子氏(66)を大差で破り、16年ぶりに新知事が誕生した。岸本氏は「仁坂知事の県政を継承し、さらに一歩前に進める。和歌山が最高だと子供たちが思える未来を作りたい」と決意を述べた。

【岸本周平氏略歴】

桐蔭高校、東京大学法学部卒業後、大蔵省(現財務省)に入省。トヨタ自動車を経て平成21年に衆議院議員に初当選し5期目の令和4年9月に辞職。

仁坂知事が4期16年で退任

仁坂吉伸知事は、12月16日に4期16年の任期を終えて退任した。仁坂知事は、前知事辞職に伴い、平成18年の知事選で初当選した。紀伊半島大水害では本県の復興に全力を掲げるとともに、紀伊半島一周高速道路の実現や企業誘致などに懸命に取り組んだ。

退任会見では、「16年間、県の勢いを取り戻すために頑張ってきた。生まれ故郷である和歌山のために尽くすことができる幸せな機会を与えてもらった」と話した。

県議会議長に尾崎要二議長が就任

和歌山県議会は昨年6月3日の定例議会で尾崎要二議員(海南市・海草郡選挙区、9期目、自民党)を18年ぶり2度目の就任となる新議長に、岩田弘彦議員(橋本市選挙区、3期目、自民党)を副議長に選任。尾崎議長は、「議会は常に公正・公平で効率的な行政が行われるようチェックする機関であると同時に、活発な議論と行動力のある県議会として県民の皆様の期待に応えていきたい」と抱負を語っている。

宝塚医療大学 和歌山保健医療学部 看護学科開設

和歌山県の誘致で令和2年度に開設した宝塚医療大学和歌山保健医療学部(和歌山市中之島)に新たに看護学科(定員50名)が開設され、令和4年4月3日に1期生となる56名が入学しました。

令和4年度和歌山県文化賞が決定 11月1日

令和4年度の県文化表彰の受賞者7人が選出され、文化の向上発展に特に顕著な業績を残した県文化賞に和歌山市出身の環境学者である武内和彦さんが選ばれました。

その他の受賞者として、〔文化功労章〕は紀の川市出身の歌手・TONPEI(田中良幸)さん、台湾台北市出身の音楽家・宮澤敏夫さん、美浜町出身の医学者・宮西照夫さんが、〔文化奨励賞〕には、紀の川市出身のグラフィックデザイナー・岩田直樹さん、和歌山市出身のヴァイオリン奏者・寺下

真理子さん、橋本市出身の作曲家・冷水乃栄流さんが選ばれました。

坊駅～紀伊田辺駅」が追加され、利用可能区間が「御坊駅～新宮駅」に拡大されました。

和歌祭 四百年式年大祭

和歌祭は、紀州徳川家の初代藩主・徳川頼宣が父・家康を祀るために創建した紀州東照宮において、元和8年（1622年）に始められた例大祭です。創始400年の節目となることから、5月15日に「和歌祭 四百年式年大祭」が執り行われ、和歌山城周辺での渡御行列や松平健氏のゲスト参加など歴史と伝統のある祭が盛大に開催された。



きのくに線「サイクルトレイン2022」

御坊～新宮に利用区間拡大

JR西日本和歌山支社では、令和3年9月から、きのくに線「紀伊田辺駅～新宮駅」間において、自転車をそのまま車両内に持ち込めるサービス「サイクルトレイン」を実施しているところですが、令和4年4月1日から、利用可能区間に「御

田辺市に「龍神村Dragon Museum（ドラゴンミュージアム）」が開館

田辺市龍神村柳瀬の国道425号沿いに、「龍神村Dragon Museum（ドラゴンミュージアム）」がオープン。2020年～2021年に地域の特性を生かしたまちづくりに取り組む「龍の里づくり委員会」がフィギュア製作会社「海洋堂」（大阪府）の協力で開催した「龍の造形大賞」の応募作品等を展示し、村おこしに取り組む株式会社龍神村（伊藤研治代表取締役）が運営。



都市計画道路西脇山口線が完成

最後の区間である川永工区が令和4年3月25日に4車線完成し、全線（和歌山市磯の浦から和歌山市里 延長約17km）の4車線化が完成しました。

国道42号 田辺西バイパスの全線開通

田辺市芳養町清地路から大屋間の延長1.6kmが、3月20日に開通したことで、国道42号田辺西バイパス（田辺市稲成町稲成～芳養町清地路）が全線開通しました。

ふるさと納税で和歌山の「食」を楽しみませんか

和歌山市は、令和3年9月より、「地域活性化起業人」として、株式会社ぐるなび（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：杉原章郎）から社員2名の派遣を受け入れています。

和歌山市では、株式会社ぐるなびとの連携で「食事型ふるさと納税サービス」を令和4年度より開始しております。この取組は、和歌山市の「ミシュランガイド京都・大阪+和歌山2022」に掲載されている飲食店や地元の人気店が参画し、和歌山市の産品を活用した料理を楽しんでいただく食事券をふるさと納税返礼品として提供するものです。

東京で利用できるレストランは以下の4店舗あります。ショッピングサイト「ぐるすぐり」内の特設ページ「ぐるなび ふるさと納税」にて取り扱っていますので、ぜひご利用下さい。

◆URL：[//gurusuguri.com/special/furusato/top/](http://gurusuguri.com/special/furusato/top/)

和歌山市×東京のレストラン ※一部店舗紹介

「和歌山市ふるさと納税」参加店舗、コース概要 店舗数：4店舗（2022年9月29日現在）

鯛や海老などの海産物を中心に高級食材が豊富な和歌山市。高級店にも愛される食材がふんだんに利用された、特別なコース料理を名店でお楽しみいただけます。

Simplicite(サンプリシテ)【東京都】

返礼品：和歌山市の食材を使った特別ディナーコース〈2名様分〉

寄附額：171,000円

『ミシュランガイド東京 2022』一つ星掲載店。和歌山市で厳選された季節の魚と熊野牛を使用したディナーコース。可能性を感じる素晴らしい食材にインスピレーションを受けた直感的な料理を提供。



AMOUR (アムール)【東京都】

返礼品：和歌山市の食材を使った特別ディナーコース〈2名様分〉

寄附額：162,000円

『ミシュランガイド東京 2013』にて一つ星を獲得後、7年連続で一つ星を獲得した恵比寿の閑静な一角に店を構える、一軒家のレストラン。後藤祐輔シェフによる、和歌山食材とフレンチの匠の技が融合した特別なフルコースを提供。



La paix (ラペ)【東京都】

返礼品：ラペコース〈2名様分〉

寄附額：135,000円

現代料理の軽やかさと古典料理の歴史をあわせ持つ、『ミシュランガイド東京 2018』より5年連続の一つ星掲載店。松本一平シェフの故郷である和歌山市の旬の食材をふんだんに使用した特別コースを提供。



REQUINQUE (ルカンケ)【東京都】

返礼品：和歌山市特別ディナーコース〈2名様分〉

寄附額：127,000円

和歌山の豊かな風土に育まれる海の幸・山の幸など四季折々の食材を使用したコース、全11品程。旬の食材の魅力を伝えるため、月ごとにコース内容を変更して提供。





同郷会・同窓会だより

令和4年度「和歌山大学柑芦会東京支部総会」開催

日時：令和4年9月23日（金）13:30～15:30

場所：損保会館 大会議室 ※オンライン併用

「和歌山大学経済学部柑芦会東京支部総会」（小林淳支部長）が昨年9月23日（金・祝）、損保会館 大会議室にて3年ぶりに開催（オンライン併用）されました。

共にかつらぎ町出身で和歌山大学経済学部卒業の前衆議院議員の門 博文様（昭63卒）と山根木 晴久副支部長（昭61卒）（日本労働組合総連合会 副事務局長）の同郷人ならではの異色な組合せて「和歌山から国会へぶっちゃけ話」をテーマに座談会を行いました。



令和4年度 第18回「南紀田辺会」開催

日時：令和4年10月15日（土）11:30～16:00

場所：ルポール麴町「ロイヤル・クリスタル」

関東在住の紀南地方の高校卒業生らでつくる「南紀田辺会」（山形友紀会長）はコロナ禍で3年ぶりの第18回総会・懇親会を昨年10月15日（土）、ホテル・ルポール麴町で開催し、85名が出席して旧交を温めた。

総会終了後、田辺市の（株）山長商店の榎本長治会長の「木と共に生きて—山の恵みを届けて300年」と題した講演を拝聴。その後の懇親会では、原口裕之紀陽銀行頭取（田高33回生）の発声で乾杯。世代を超えて故郷や共通の話などで交流を深めた。



次回は令和5年10月14日に同じ場所で開催予定。

第97回「東京和工会」総会・懇親会開催

日時：令和4年11月23日（水）14:00～17:00

場所：学士会館

第97回総会・懇親会は、コロナ対策を行い、3年ぶりに対面にて開催致し、約40名が参加しました。

コロナ禍でありましたが、マジックショーやビンゴゲーム等で盛り上がり、最後は参加者全員で懐かしい校歌を熱唱し、楽しい時を過ごしました。

新たなHPを開設しました。

<https://tokyowakokai.jimdofree.com>



令和4年度「紀友会11月リモート例会」開催

日時：令和4年11月11日（金）18:30～20:00

場所：オンラインZOOM例会（どなたも参加可＜無料＞紀友会HP、FB参照）

魅力溢れる和歌山を深く知り、新たに出会い、暮らしを一層楽しむことを目指す交流会『紀友会（山本充彦会長）』では年3回の例会や和歌山イベント参加、最新の和歌山情報の共有などを行っています。

11月は県が実施する「ふるさと納税型クラウドファンディング事業」にて採択された起業家本人によるプレゼン会。和歌山の魅力を活かす新たな視点で起業した5組の熱い想いに参加者の皆さんもワクワク。次回開催は2月予定です。



令和4年度「東京橋本会」総会

日時：令和4年10月1日（土）10:30～11:30

場所：東京グリーンパレス（東京都千代田区二番町2番地）

参加者：東京橋本会役員（8名）及び平木市長、北岡経済推進部長、事務局（企業誘致室職員）

例年、会員および来賓の方をお招きし東京橋本会総会・親睦会を開催していますが、令和4年度については、昨年同様、新型コロナウイルス感染症の影響により、親睦会は中止とし総会のみ役員および橋本市関係者にて開催しました。

令和4年度 在京和歌山県人会通常総会開催

日時 令和4年10月23日（日）12：00～14：00

場所 ホテル ルポール麴町「ロイヤル・クリスタルの間」

コロナ禍で開催を見送っていた通常総会が10月23日（日）ホテルルポール麴町「ロイヤル・クリスタルの間」で3年ぶりに開催されました。

昭和34年に、会員相互の親睦を図り、併せて郷土の発展に寄与することを目的に設立されて以来、昨年で64周年を迎えることが出来ました。今後も本会が益々発展し会員相互と郷土の発展にお役に立てるよう頑張っています。



（谷口会長挨拶）

〔中野美智子様への感謝状贈呈〕

瀧井副会長の司会で始まる。総会の開会に先立ち、長年にわたり事務局として県人会にご尽力いただいた中野美智子様（故人）が令和3年5月にお亡くなりになったことから、永年の県人会への貢献に対し、感謝状と記念品の贈呈を行う。弟様である迫間脩様、姪御様の赤羽美賀子様（故人）が感謝状を受け取る。



（感謝状贈呈）

引き続き、議事に入る。時間の都合上配布している資料（総会プログラム）に沿って谷口議長のもと審議に入る。議案第1号「令和3年度事業報告並びに歳入歳出決算」を提出。これに関連して後地俊男監事より「歳入歳出決算、諸帳簿等の監査の結果いずれも妥当であることを認めました」と監査報告。異議なく可決。議案第2号「令和4年度事業計画（案）並びに歳入歳出予算（案）」に移る。異議なく可決。

〔講演及び昼食〕

総会終了後、昼食をとりながら講演の部に入る。紀州徳川家第19代当主である徳川宣子様（故人）が「城下町の記憶」と題して講演され、会員は紀州徳川家にまつわる話を興味深く聞き入る。



（徳川様による講演）

〔総会〕

引き続き総会が始まる。まず谷口博昭会長より挨拶。その後、出席いただいている参議院議員足立敏之先生のご挨拶に始まり、ご出席いただけなかった国会議員先生方の秘書さん、山名由良町長さんや市長代理の方々をご紹介します。

[交流会]

久保理事の司会で交流会が始まる。しばらく懇談が続いた後、会場出席者からのPRタイムが始まる。



(歓談の様子)

トップバッターは山名由良町長で由良町の紹介やふるさと納税をPR。



(山名町長による由良町のPR)

次に、和歌山県庁税務課の栩野主任より和歌山県へのふるさと納税へのPRの後、東京事務所尾藤主査より串本町で進められている民間ロケットの打ち上げについて説明。



(尾藤主査によるロケットの説明)

東京学生寮からは坂本寮長を筆頭に学生、寮母さんも壇上から学生寮をPR。



(東京学生寮の皆さん)

今城紀の川市副市長が紀の川市をPR。会員の石田雅子さんからは吉川隆弘さんのピアノリサイタルのPRがありました。



(今城副市長による紀の川市のPR)

[福引抽選会]

上田さんの司会で各所よりいただいた寄贈品の抽選会に移る。市町からの特産品の提供が多いこともあり、事務局による事前抽選と公開抽選の2段階で実施。豪華景品が次々と当選者に渡された。全員が当選したことから、全ての方を対象に2回目の抽選を行い、楽しい抽選会の時間もあっという間に過ぎる。



(抽選会風景)

副会長の濱口道雄さんの閉会の辞で令和4年度の通常総会も盛大に無事終了しました。

令和4年度在京和歌山県人会 土産品・寄付金提供一覧表

(敬称略：順不同)

《 詰め合わせ記念品一覧 》

絹しようゆ、テーブル用昆布ボン酢セット
 ヤマサ醤油(株) 会長 濱口 道雄
 梅干しタッパーあかね(110g)
 (株)東京ウメタ 泰地 武
 梅干し5粒、梅エキス飴
 (株)東農園 会長 東 善彦
 インスタントエスプレッソ }
 コーヒークーポン券 }
 セガフレード ザネッティ ジャパン(株)
 社長 森 聡郎

《 抽 選 景 品 一 覧 》

ホテル海舟宿泊券 2組
 (株)東農園 会長 東 善彦
 ラビスタ東京ベイ宿泊券 1組
 (株)共立リゾート
 ダイワロイネットホテル宿泊券 2組
 ダイワロイネットホテルズ(株)
 南高梅あかね(800g)
 (株)東京ウメタ 泰地 武
 ロカリストフルーツゼリーセット 3個
 (株)紀陽銀行
 洋菓子舗ウエスト ドライケーキ 10個
 アドソル日進(株) 会長 上田 富三
 胡蝶蘭 1鉢
 (有)HIKARU ORCHIDS

きいちゃんぬいぐるみ 1個
 和歌山県知事 仁坂 吉伸
 和歌山ジンジャーエール(6本入) 4個
 和歌山市長 尾花 正啓
 手作り豆菓子 4個
 橋本市長 平木 哲朗
 みかんジュース(3本入) 2個
 有田市長 望月 良男
 三ツ星醤油(2本入) 5個
 御坊市長 三浦 源吾
 みかん(10kg) 1箱
 田辺市長 真砂 充敏

柿(2kg) 2箱
 紀の川市長 岸本 健
 産品詰め合わせ 10個
 紀美野町長 小川 裕康
 りくぼくちゃん布トートバッグ
 (大小セット) 5個
 高野町長 平野 嘉也
 ひじき 5個
 美浜町長 藪内 美和子
 ご当地キティちゃんぬいぐるみ 5個
 由良町長 山名 実
 トマト梅 5個
 みなべ町長 小谷 芳正
 あゆとあまご一夜干しセット 3個
 日高川町長 久留米 啓史
 紀州銘菓かげろう(20個入り) 5個
 白浜町長 井澗 誠
 熊野やまももしろっぷ 5個
 上富田町長 奥田 誠
 イノブタハンバーグ(3個入り) 5個
 すさみ町長 岩田 勉
 ゆずドリンク(10本入) 7個
 鹿ジャーキー、ボロネーゼ、
 キーマカレーセット 8個
 古座川町長 西前 啓市

《 寄 付 者 一 覧 》

岩崎 新太郎 植芝 守央 上田 富三
 後地 俊男 大西 正悟 神山 欣也
 川口 雅敏 久保 剛彦 坂口 三代治
 坂本 豊 杉若 吉彦 泰地 武
 瀧井 道治 竹中 美晴 谷口 博昭
 濱口 吉右衛門 濱口 道雄 東 善彦
 東 裕 日根 かがり 廣浦 康勝
 藤田 和子 洞 定治 堀内 榮一
 本田 悦朗 森 聡郎 山本 勝也
 由良 禎造

《議 事》

議案第1号 令和3年度事業報告並びに歳入歳出決算について

(令和3年度事業報告)

- ・理事会1回開催
- ・県人会会報の発行

(令和3年度歳入歳出決算)

(歳入の部)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 引	附 記
項 目				
	円	円	円	
会 費	0	0	0	
寄 附 金	0	20,000	20,000	
広 告 料	0	0	0	
雑 収 入	2,000	10	△ 1,990	
前 年 度 繰 越 金	1,589,078	1,589,078	0	
合 計	1,591,078	1,609,088	18,010	

(歳出の部)

科 目	当初予算額	流用増減額	予算現額	決 算 額	差 引	附 記
項 目						
	円	円	円	円	円	
事 務 費	1,160,000	0	1,160,000	642,768	517,232	
会 議 費	40,000	70,000	110,000	89,856	20,144	
事 業 費	340,000	△ 20,000	320,000	246,910	73,090	
会 報 発 行 費	340,000	△ 20,000	320,000	246,910	73,090	
予 備 費	51,078	△ 50,000	1,078	0	1,078	
合 計	1,591,078	0	1,591,078	979,534	611,544	

歳 入 合 計 1,609,088円
 歳 出 合 計 979,534円
 歳入歳出差引残金 629,554円(翌年度へ繰越)

令和3年度歳入歳出監査報告について

〔監査報告〕

令和3年度歳入歳出決算書について、歳入歳出決算書、諸帳簿等の監査の結果いずれも適正であることを認めます。

令和4年4月25日

監 事 後 地 俊 男
 〃 東 裕
 〃 森 聰 郎

議案第2号 令和4年度事業計画(案)並びに歳入歳出予算(案)について

(令和4年度事業計画(案))

1. 令和4年度理事会開催
2. 令和4年度通常総会開催
3. 県人会会報の発行
4. その他必要と認められる事業

(令和4年度歳入歳出予算(案))

(歳入の部)

科 目		本年度予算額	前年度予算額	差 引	附 記
項	目				
会 費		円 1,905,000	円 0	円 1,905,000	
	普 通 会 費	650,000	0	650,000	
	賛 助 会 費	555,000	0	555,000	
	総 会 費	700,000	0	700,000	
寄 附 金		0	0	0	
廣 告 料		0	0	0	
雑 収 入		2,000	2,000	0	
前年度繰越金		629,554	1,589,078	△ 959,524	
合 計		2,536,554	1,591,078	945,476	

(歳出の部)

科 目		本年度予算額	前年度予算額	差 引	附 記
項	目				
事 務 費		円 920,000	円 1,160,000	円 △ 240,000	
議 業 費		1,220,000	40,000	1,180,000	
事 業 費		330,000	340,000	△ 10,000	
会 報 発 行 費		330,000	340,000	△ 10,000	
予 備 費		66,554	51,078	15,476	
合 計		2,536,554	1,591,078	945,476	



おいしいしょうゆは赤い。



生(なま)しょうゆと火入れしょうゆの贅沢ブレンド

絹しょうゆ 絹しょうゆ 減塩

口当たりやわらかく余韻のあるうま味、これ1本でおいしさの幅が広がる。

やわらかな塩味、豊かなコクとうま味のおいしい減塩しょうゆ。

毎日の食卓、キッチンに手軽に使える鮮度容器。

鮮度生活

特選 丸大豆しょうゆ 減塩しょうゆ

丸大豆を使用したうま味と華やかな香り、コク深いおいしさ。

一般的なこいくちしょうゆに比べ食塩分を50%カット。



ヤマサ醤油株式会社 www.yamasa.com

高野山開創1250年の年に和歌山を訪れてみませんか

宗祖弘法大師御誕生1250年記念大法会

「いのちよ 輝け～大師のみこころと共に～」

法会期間：令和5年5月14日(日)～7月9日(日)

和歌山県の高野山は、弘法大師空海（お大師さま）が、真言密教を日本に広め、僧侶が修行するための道場として、弘仁7年（816年）にお開きになられた聖地です。

お大師さまは承和2年（835年）3月21日に高野山奥之院にご入定なされ、今も人々を見守り、救い続けておられます。

令和5年（2023年）はお大師さまがお生まれになって1250年の記念の年です。

高野山では、ご誕生日の6月15日を中心として、5月14日～7月9日までの57日間、「いのちよ輝け～大師のみこころと共に～」のスローガンのもと宗祖弘法大師御誕生1250年記念大法会が執行されます。

この機会にふるさと和歌山を訪れてみませんか。



[高野山東京別院]

皆さんは、高輪に高野山の東京別院があるのをご存知でしょうか。延宝元年（1673年）「高野山江戸在番所高野寺」として建立され現在に至ります。

どなたでもお参りいただけます。また、写経体験や教室も開催しています。



【お問い合わせ】

高野山真言宗 総本山金剛峯寺

宗祖弘法大師御誕生1250年記念大法会事務局

電話番号 0736-56-2012（直通：平日8時30分～17時）

〒648-0294 和歌山県伊都郡高野町高野山 132

ロケット発車を応援しましょう

和歌山県から国内民間初の軌道投入ロケット^{※1}が 発射されます!!

2023年2月末(予定)、串本町にある民間ロケット発射場「SPACE PORT Kii (スペースポート紀伊)」から、民間では日本初となる軌道投入ロケット「カイロス^{※2}」が打ち上がる予定です。

カイロスの打ち上げに合わせ「ロケット打ち上げ応援会」を開催しますので、応援会に参加して、迫力ある打ち上げの瞬間に立ち会いましょう!

日時等の詳細は、公開され次第、応援サイトに掲載されます。応援サイトに登録するとメールで通知されますので、この機会にご登録ください!



(公式HP : <https://www.wakayama-rocket.com/>)



SPACE PORT Kii ロケット打ち上げ公式見学場

スペースポート紀伊は串本町と那智勝浦町の町境にある浦神半島に立地しており、応援会はここから2km弱離れた、2カ所の公式見学場で開催されます。

将来的には年間20基の打ち上げを計画しており、近い将来、紀南地域がロケット打ち上げのメッカになるかも!?

- ※1 国内民間初の軌道投入ロケット：地球周回軌道にペイロード(人工衛星などの積荷)を投入できるロケット。日本では公設であるJAXAの施設を除き、SPACE PORT Kiiのみがその打上能力を有する。
- ※2 カイロス：KAIROS (Kii-based Advanced & Instant ROcket System)。契約から打上げまでが世界最短、打上げ頻度が世界最高の宇宙輸送サービスを目指すスペースワン^(※3)が、『時間を味方につけて市場を制する』という強い意思から、ギリシア神話の時間神カイロスから命名。Kiiは紀伊半島から。
- ※3 スペースワン：SPACE PORT Kiiを運営する会社。公式HP (<https://www.space-one.co.jp/>)

皆様のご健康とご多幸を
お祈り申し上げます



『本草綱目抜書』（南方熊楠頭影館 所蔵）

南方熊楠が『本草綱目』を書き写したノート。12歳のときのものです。絵がたくさん書かれているものと、小さな文字がぎっしりと書かれたものがあります。

『本草綱目』は、中国の李時珍が書いた本草書で、全部で52巻あります。中国本草学の基本文献ですが、江戸時代には日本でもたくさん出版され、本草学者たちのバイブルになりました。



東証プライム
証券コード 3837



ICTとDXで、
持続可能な社会の発展に貢献します。



アドソル日進株式会社

事業内容 独立系のICT企業として、
「社会インフラ・システム」を中核に、「DXシステム」や、
「オリジナル・ソリューション」の提供を行っています。

東京本社 : 東京都港区港南4-1-8
国内拠点 : 大阪、福岡、仙台
海外拠点 : 米国・サンノゼ (シリコンバレー)
ベトナム (ハノイ、ダナン、ホーチミン)
中国 (大連)

ウェブサイト : <https://www.adniss.jp>



代表取締役会長 上田 富三
(和歌山県 橋本市 出身)